

# 府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針（案）に対する意見交換会 開催結果

## 1 開催概要

	開催日時	場所	参加者数
1	平成27年10月24日（土） 午後2時	白糸台文化センター 講堂	8名
2	10月31日（土） 午前10時	中央文化センター 第2講堂	19名
3	10月31日（土） 午後2時	西府文化センター 会議室	8名
4	11月 4日（水） 午後7時	中央文化センター 第2講堂	18名
計4か所			延べ53名

## 2 参加者からの主な質問・意見及び市の説明（意見のみの場合などは市の説明欄は斜線で表記）

※実施順

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
1	白糸台文化センター	パブリックコメント手続によって寄せられた意見は、しっかりと再編方針に反映されるのか。	寄せられた意見に対しては、それぞれ市の考えとともに公表する。また、再編方針（案）に意見を反映させた部分や、今後の取組で反映させていくものについても、それぞれ理由と共に公表する。
2	白糸台文化センター	平成26年度に行われた検討協議会の報告書には、フロアセブン協議会の解散を示唆する内容があり、また、フロアセブン協議会に対する説明会では、施設の有料化についても話されていて、駅に近く、無料で活動することができなくなるのではないかと危惧している。	/

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
3	白糸台文化センター	府中グリーンプラザの敷地は、売却せずに商業施設等を誘致するという考えのようだが、既に南口には商業施設があり、再開発により新たな商業施設も整備される。更に、府中グリーンプラザを商業施設にする必要はなく、市の公民館機能として整備するべきである。	
4	白糸台文化センター	今回再編の対象となっている府中駅周辺の11の公共施設は、私たちが希望して整備されたものではなく、行政が「必要」ということで整備したものであり、必要がなくなったら廃止をし、同時に自主的な運営によって成り立っているフロアセブン協議会も解散させるというのは、乱暴に感じる。	
5	白糸台文化センター	障害を抱える子ども達が活動する場としては、バリアフリーで駅に近いということが必須条件であり、活動場所としては駅に近いことが求められる。つまり、けやき並木の近くにある府中グリーンプラザを、無料で使用できることは必須である。	今回の再編の対象である11施設のほかに、現在進められている府中駅南口再開発事業に伴い、新たな施設を整備する予定である。なお、使用料については、新たな施設に限らず、市全体の見直しのなかで、原則有料化という方針を定めている。
6	白糸台文化センター	再編方針（案）では、府中グリーンプラザを含む11施設を対象としているにも関わらず、40年間で年平均70億円が必要と記載されている。誤解を招きやすいので、70億円には、学校等のその他施設が含まれているということを説明するべきである。	
7	白糸台文化センター	フロアセブン協議会の加盟団体は、市と協働し、自主的な運営を行う団体として高い評価を得ていると認識している。市は、このような協働の取組のニーズを引き出し、支援するような取組を行うべきである。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
8	白糸台文化センター	フロアセブン協議会が運営している会議室は3部屋であり、1日当たり9コマ使用できるとすると、年間約3,000コマ使用できる。稼働率が約80%であり、1コマ1,200円とすると約300万円/年の市の収入になるが、年間70億円かかるという施設の更新費用からするとわずかなものである。たった300万円を得るために、健康増進にも寄与しているフロアセブン協議会の活動を終わらせるのは納得がいかない。ぜひ、駅の近くに無料で活動できるスペースを確保してもらいたい。	
9	白糸台文化センター	府中グリーンプラザは駅から近く、全ての方々が利用しやすい場所であったから発展してきたのであり、市民文化の向上とコミュニティ活動の増進という目的から逸れることなく、更なる充実をしていただきたい。利用者を遠いところに追いやり、料金をたくさん取るということがないようにしてもらいたい。	
10	白糸台文化センター	府中グリーンプラザ分館のギャラリーを廃止するという事は、それを代替する機能は近くに確保されるのか。	ギャラリー専用の公共施設は駅の近くにはないが、会議室を活用できるのではないかと考えている。もし公共施設で専用の機能が必要ということであれば、美術館の市民ギャラリーを利用いただくことになる。
11	白糸台文化センター	府中グリーンプラザ分館のギャラリーは府中駅南口再開発の影響で半分に縮小している状態であり、府中グリーンプラザの展示ホールに関しては、料金が高く、私たちでは使用できない。そのため、皆が利用可能なギャラリー機能を駅の近くに作ってもらいたい。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
12	白糸台文化センター	府中駅南口再開発事業に伴う施設の情報は、どこかに記載されているのか。	再編方針（案）の13ページに、府中駅南口新施設という名称で、整備する各機能を記載している。
13	白糸台文化センター	府中駅南口の新たな施設の整備について、協働のスペースの確保という点では理解できるが、会議室等を使用する際に有料となってしまうと、フロアセブン協議会の108の登録団体は活動が危うくなってしまう。市に入るたった300万円のために私たち市民の活動を抑え込んでしまうのか。	
14	白糸台文化センター	施設を廃止するが他施設の同様の機能を利用してもらうことで補完すると、再編方針（案）内に説明にあるが、現在市民が使用している施設の機能に関しては、100%の機能の代替が必要である。	
15	白糸台文化センター	府中グリーンプラザは多くの利用実績のある施設なのだから、府中駅南口の新施設についても、これまでの府中グリーンプラザの7階と同様の運営方法で、利用料金についてもこれまでと同様に無料にし、府中グリーンプラザと同等の機能を確保することを要望する。	府中駅南口の新施設について、市民活動の場となる貸館機能を整備する予定である。利用料金については、今後定めていくことになるが、市全体で使用料の見直しが行われているなかでは、現在の府中グリーンプラザと同程度とすることは困難である。
16	白糸台文化センター	再編方針（案）の18ページには、各施設の利用状況が記載されているが、「利用したことがない」という割合を見ると、府中グリーンプラザは39.4%、中央図書館が25.8%である。府中グリーンプラザの利用頻度が高いことは市も認識していると思う。	府中グリーンプラザの稼働率については、多くの方々に利用いただいていると認識しているが、課題は、機能ごとや時間帯ごとの稼働率のばらつきである。これは、機能面だけでなく、運営面も含め、単独施設としての課題があると考えている。
17	白糸台文化センター	高齢者や障害者、子どもを育てている人は、夜の外出が難しくなるため、夜間に施設の稼働率が下がるのは当たり前である。	昼間に時間を作れる方だけでなく、より多くの方に協働に加わっていただけるよう施設のあり方を考えなければならない。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
18	白糸台文化センター	今回の検討におけるアンケートの実施方法について、対象となる市民約4千人のうち、3千人は web 方式であり、府中グリーンプラザの利用者は、パソコンや携帯電話を持っていない高齢者が多くなかでは、アンケートの結果には現実との乖離があるように感じる。	
19	白糸台文化センター	施設の再編について、移転を伴わないような、あまり問題の生じない取組は進めても構わないと思うが、解体や廃止をする施設についての検討については、もっと時間をかけて検討を行うべきではないか。	
20	白糸台文化センター	府中グリーンプラザは耐震性を有しているにも関わらず、市の財産である府中グリーンプラザを解体するのか。	ご指摘のとおり、府中グリーンプラザは耐震性能を有している。ただし、建物の耐用年数を仮に60年程度として考えていても、メンテナンスを全く行わずに60年間使用できるというわけではない。建築後約35年が経ち、休館を要するような大規模な改修が必要な時期を迎えているなかで、その費用は非常に大きなものであると考えている。
21	白糸台文化センター	公共施設の大規模改修は、法律で定められているものなのか。	法律で定められているものではないが、例えば、雨漏りなどを放っておけば、躯体の鉄筋にさびが生じ、安全に使用し続けることが難しくなるため、基本的には、不具合が起きる前に改修を行っていくことが望ましい。利用者に何かが起こってからでは手遅れであり、事前に必要な経費をかけていくことが大切である。
22	白糸台文化センター	府中グリーンプラザは、どれほど改修に経費がかかってくるのか。	これまでに行っておくべき改修ができていないという状況も踏まえて、平成27年度から平成31年度までに必要となる費用の見込額は16億8千万円である。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
23	白糸台文化センター	府中グリーンプラザは、年間4千万円ほど減価償却費を貯めているのではないか。そのお金を利用して改修すればよいのではないか。	減価償却費は、自動的に貯まっていくものではなく、施設本来の価値から毎年どれほどの価値が失われているかを示すものである。
24	白糸台文化センター	施設別の更新費用の見込額は、どこで知ることが可能か。	再編方針（案）では、施設ごとには記載していない。その取扱いについては、再編方針を策定する際に改めて検討する。
25	白糸台文化センター	400億円以上の基金が市にはあると聞いているが、府中グリーンプラザの改修見込額である、約15億円も使うことができないのか。	市は300億円程度の基金があるが、その全てを施設の改修に充てられるものではない。公共施設整備基金が約100億円あるが、同様に改修を行わなければならない施設は他にもあり、市の施設全体を捉えて考えなければならない
26	白糸台文化センター	府中グリーンプラザの跡地を、どのような店舗に貸し付けるかといった、具体的な見通しはあるのか。	府中駅南口の新たな施設に入るテナントとは異なる種類のものを考えているが、まだ決まっていない。
27	白糸台文化センター	再編方針策定後の動きについて、「具体的な活用策は、今後施設ごとに定めます。」というが、施設ごとの活用策は既に決まってしまっているのではないか。	現段階では、施設ごとの進め方については、再編方針（案）で定めた内容しか決まっていない。
28	白糸台文化センター	市民の意見が何も考慮されることなく、再編方針（案）から再編方針になるのか。	この意見交換会やパブリックコメント手続等でいただいたご意見を踏まえ、再編方針を策定する。
29	白糸台文化センター	受益者負担という考え方のみが先行して、市民サービスが削られていくなか、そのような市民の不安を取り除くべきである。公民館的な機能を維持しつつ、社会教育を育み、健康的に活動する市民をサポートするのが自治体の役目である。自治体職員と市民が共に進歩しながら文化に寄与することが大切である。	決して既存のサービスを廃止するということだけを考え、今回の再編を進めているわけではない。施設には設置目的があることは理解しているが、更新費用の増大等の問題を考慮すると、必ず見直しが必要であり、府中駅南口再開発などの様々な事業が進められているこの機会に、府中駅周辺公共施設の効率的な運営について検討し、再編方針（案）をまとめたものである

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
30	白糸台文化センター	ハード面のみの検討を行うのではなく、ソフト面の見直しも必要である。国立市では駅の近くに民間のギャラリー機能が多くあり、それと比べると、文化の府中と言うには物足りない気がする。もっと市民のニーズに近づける必要があるように感じる。	ソフト面では、市民のニーズに対して十分ではない部分もあるかもしれないが、全てを公共施設で担う必要があるのかという点も含め、議論を深めていかなければならないと考えている。
31	白糸台文化センター	府中駅周辺公共施設の見直しといっても、市民にプラスになるような見直しが1つもない。	
32	白糸台文化センター	社会教育を管轄するのは、教育委員会だと思うが、今回の再編方針（案）に対して、教育委員会から意見は出していないのか。	再編方針（案）の作成に当たっては、教育委員会も一体となって検討を行ってきている。
33	白糸台文化センター	現在、設置されている公共施設の機能が、今後少しでも使い勝手が悪くなることについては反対である。	
34	白糸台文化センター	使用可能な公共施設は、メンテナンスを丁寧に行い、できる限り長く使用してほしい。最近の府中市は、建物を長く大切に使うという姿勢が欠けている。市税を使って整備した市民の財産である公共施設は大切に使用してほしいとともに、何でも壊して新しく整備するという考えをやめてほしい。	メンテナンスを行い、建物を長く使用する大切さは認識している。しかし、そのようにしていくためには費用がかかるものであり、その財源確保も同時に行う必要がある。
35	白糸台文化センター	施設の広報を市が行えば、施設の稼働率は上がると思う。その広報を市が怠っている一方で、施設を使用しない人が多いと論じるのはおかしい。同じく、しっかりと広報を行わず、施設の利用状況が固定化されているという理屈もおかしい。	市が広報を今以上に行えば稼働率が上がるという可能性はないと言わない。しかし、市には社会教育登録団体などが数多くあり、これまで整備してきた施設を活動場所として利用しているなかで、駅から非常に近く、設置から約30年経つ府中グリーンプラザであっても、稼働率は横ばいである。これは、単に広報して稼働率が上がればよいという問題ではない。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
36	白糸台文化センター	府中駅周辺公共施設の再編と掲げて基本方針はまとめられているが、最終的には府中グリーンプラザの敷地の貸付けが目的である。新たな財源の確保という聞こえはいいが、実際は30年以上続いている市民の文化活動が無視する取組である。	
37	白糸台文化センター	にぎわいの創出とは、どのようなものを考えているのか。	イベントの開催により、駅前のにぎわいを生み出すだけでなく、これからは府中駅周辺に、市内外を問わず多くの方が経常的に訪れるような取組が必要である。その取組の1つとして、商業施設のような人の集まる場を設けることなどが挙げられる。
38	白糸台文化センター	府中市にはなぜ公民館が存在しないのか。公民館は市民の自主活動には必要である。	文化センターの中に公民館は設置されている。文化センターは、公民館、児童館、高齢者福祉館及び図書館の複合施設という位置付けである。
39	白糸台文化センター	各文化センターを拠点として、にぎわいを創出したほうが良いと思う。何も、府中駅前の一極集中でにぎわいを創出する必要はないのではないか。	
40	白糸台文化センター	以前の緑豊かな府中市が失われてしまっている。私たちは現在のような豪華な駅前を求めている。	
41	白糸台文化センター	他の事業について、これまでパブリックコメント手続で意見を出したことがあるが、本当に市長は読んでいるのか。すべて建築施設課が回答しているのではないのか。	各施設の所管課にも意見の確認と回答の作成を依頼し、取りまとめている。また、職員の説明とともに全て市長は読んでいる。
42	白糸台文化センター	パブリックコメント手続による意見とその答えの公表は、どのように行うのか。	再編方針を公表するのと同時期に、市ホームページをはじめ、文化センターや市政情報センターなど、現在意見を募集している場所で公表する。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
43	白糸台文化センター	この意見交換会を通して、府中グリーンプラザの解体に対する賛成意見は1つも出てきていないので、解体をするかどうかについては、より時間をかけて検討する必要があると思う。例えば、再編方策2に掲げている施設から検討を行うのはどうか。方策1として、府中グリーンプラザの解体を府中駅南口再開発と同時に論じ、にぎわいを創出するというのは、なかなか賛成を得られないと思う。基本方針の検討の順番を見直していただきたい。	
44	中央文化センター	再編が建物ありきで進められている気がする。建物はあくまで行政サービスのための材料であり、大事なものはその施設を使う市民であるが、今回の案ではそういったことが感じられない。	
45	白糸台文化センター	パブリックコメント手続による意見や、意見交換会で出た意見は、どのように計画に反映させるのか。	いただいた意見は、期間終了後に集計し、市側の回答やどういった点を再編方針に反映させたのか、また反映できない意見については、どのように考えているのかといったことを公表する。
46	中央文化センター	再編方針（案）に対する意見をメールで送ったが、届いたという連絡がない。企業などからは、受け取ったというメールが来る。届いたかどうかの確認通知は行っているのか。	メールで出された方を対象として送ってはいないが、費用がかからない範囲で今後は対応させていただく。
47	中央文化センター	今の情勢を考えれば、財政負担をかけないようにという考えは正しいと思うが、そもそも行政が行う取組であるのに、公共施設を経営資源として捉えるなどと書かれていて、ビジネスに結びつけている印象を受ける。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
48	中央文化センター	府中駅北第2庁舎には、府中特産品直売所を設けて農産物を売っているが、市が行うのであれば民間より安く価格を設定すればよい。しかし、実際は民間と変わらず、それより高いものもある。せっかく市が絡んで、民間に場所を貸しているのであれば、市民がやってよかったと思う方法を選択してほしい。	
49	中央文化センター	保健センターの健康増進室について、民間施設と競合する必要はないという意見が検討協議会の報告書に記載されている。確かに民間施設はたくさんあるが、行政が取り組むという意義の中には、そういった民間施設が利用できない人への配慮ということがある。市の施設にしても同じような施設があるとは言いが、それぞれの違いを捉えて、健康増進室の意義をもっと重要視してほしい。参加者が少ないのは、良い事業をしているのにPRが足りないためであり、周知を図る努力が必要である。健康志向が高まっていることから、周知すれば、そのような人たちの利用が増える。	
50	中央文化センター	保健センターについて、市民が健康を目的として活用するための色々なプログラムがあるというのは良いことだとは思いますが、本来健康増進室は体操をして健康を維持するための施設であるから、あまりかけ離れた事業を行うのはどうかと思う。	
51	中央文化センター	府中グリーンプラザは商業やオフィスへの活用を検討するとあるが、テナントが入らなかったらどうするか。	今後、具体的な用途を民間事業者と対話しながら検討していく。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
52	中央文化センター	府中駅周辺のにぎわい創出を目標に掲げているが、物を買うために駅前に人が集まってきているわけではなく、お店ばかり作ってもしょうがない。むしろ色々な社会教育団体の人が、色々な目的で市の中心部に出てきて、帰りに買い物をしているのである。それなのに、府中グリーンプラザがなくなったら人が集まらなくなる。	市としても、けやき並木は単なる買い物をする場所ではなく、景観を生かし、人が集える場所にしたいと考えている。一方で、今年の市政世論調査では、府中駅前に求めるものとして商業施設が挙げられており、そのようなニーズが高いということは受け止めなければならない。なお、府中グリーンプラザの利用者が、駅前ににぎわいの一翼を担っているということはあるが、府中駅南口に新たな公共スペースを整備することで、その役割を担えるのではないかと考えている。
53	中央文化センター	再編方針（案）は、総合計画ではどのような位置付けになっているのか。	第6次府中市総合計画において、「にぎわいのあるまちづくり」が重点プロジェクトの1つとして位置付けられており、そのための事業として、府中駅南口の再開発やけやき並木の保護などが掲げられている。ただし、この総合計画を策定した時点で、今回取り組んでいる再編が既に計画されていたかということ、その時点では計画されたものではない。
54	中央文化センター	市にとって、府中駅周辺公共施設の再編の取組によって、将来どのくらいの財源を得られると見込んでいるのか。	府中グリーンプラザの跡地について、商業やオフィスなどとして貸し付ける際の賃料をどのくらいにするかということは、まだ定めていない。なお、貸付の価格についても、近隣の状況などを踏まえ、検討していく必要があると考えている。
55	中央文化センター	今回の再編は、吉祥寺のようなまちをイメージして取り組んでいるのか。	吉祥寺といった具体的な場所をイメージしたものではないが、市では、中心市街地活性化という取組も同時に検討している。これは、府中駅周辺だけでなく、より広く府中本町駅も含めた計画として進めている。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
56	中央文化センター	府中駅と府中本町駅の往来を遮っているのが市庁舎である。市庁舎の場所を変更して、現在の場所を本格的に開発すれば、二つの駅がつながる。にぎわいという面からは庁舎の考え方も見直してはどうか。	市役所は、駅からのアクセスがよいところにあり、その利便性の良さが市民から求められているものでもある。商業施設としてではなく、庁舎機能を中心としつつ、府中駅と府中本町駅をつなぐ道として新庁舎を整備していくことを考えている。
57	中央文化センター	再編のようにこれほど大きな問題は、もっと市民が参加して時間をかけて取り組むべきである。	
58	中央文化センター	府中駅から半径500m範囲内にある公共施設は使いやすいが、この範囲外のものは使いにくい。この再編によって今以上に予約が取りにくくなったり、料金が高くなったりと、マイナスになる事態があるのかどうか具体的なことを示してもらわないと意見が出しにくい。見直すことによって、不便になっては困る。市民サービスの縮小はやめてほしい。	再編結果として、サービスの縮小が全くないとは言えない。施設の見直しは必要であり、それを進めていくなかでは何らかの変化が生じる。
59	中央文化センター	青梅市では、健康増進事業を推進していて、医療費が軽減している。事業に参加している高齢者にとっては介護予防になっている。健康増進事業の利用者が少ないのは、市のPRが不足しているからである。広報誌で知らせただけでは、広報したことにはならない。	健康増進室を広報しても、今の固定化された使い方のままでは、利用者がそれほど伸びないと考えており、運用面を変えていく必要がある。その具体的な方法については、改めて施設の所管課において検討し、有効な策を打っていければと考えている。
60	中央文化センター	活動する際に、主にふれあい会館使用している。また、機器を使用しないときは、文化センターを利用している。再編後の会場について心配しており、移転後も活動できるよう、会議室の規模や設備に配慮してほしい。	部屋の広さや数は現状の数に比べての増減という論点よりも、利用状況に即した形で整理していきたいと考えている。設備面についても、実際の使われ方を踏まえて考えていきたい。
61	中央文化センター	障害のある方が利用しやすい配慮をした、公共施設の再編を行ってほしい。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
62	中央文化センター	競走事業による収益が以前の状況に及ばないため、施設の維持もままならないのではないかと感じる。再編方針（案）はそういった背景もあり、施設を廃止する取組のように感じる。	
63	中央文化センター	府中グリーンプラザの音楽練習室や会議室はニーズが高い。府中駅南口の新たな施設に府中グリーンプラザと同数程度の貸室を整備するとの説明があったが、今より増やすべきである。	音楽練習室は、やみくもに部屋数を増やすということではなく、市民がより使いやすくなるためにはという視点で考えていきたい。
64	中央文化センター	府中グリーンプラザ跡地をテナントに貸すとしても、上層階はテナントが入らない。住居系施設は不可としているが、そういった制限が事業者からの提案を否定している。行政がそういった規制をしてはいけない。	
65	中央文化センター	府中グリーンプラザ跡地をテナントに貸す際、業種の制限についてどのように考えているのか。	原則、住居系施設としないと定めているのは、市民から商業施設を望む声があるからである。今後、さらに事業者の考え方や市民ニーズを調べ、どの程度の規模、種類の商業施設であれば事業として成り立つのか、採算が取れるのかということを見極めたうえで、最終的な募集要項を定めていく。
66	中央文化センター	減価償却費を建物コストとして計上しているのに、年ごとに失われていく価値を基金に積み立てられていないのはおかしい。	各年度の施設の歳出と歳入を表すに当たり、決算で示される金額だけでなく、減価償却費に相当する金額も入れ、全体像を示すべきと考えて資料に記載している。基金については、施設ごとに定めてということではなく、施設全体に使えるお金として一定額を積んでいる。
67	中央文化センター	公共施設のための基金を他の施設に使わず、府中グリーンプラザの更新のために使うべきである。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
68	中央文化センター	府中グリーンプラザと府中駅南口の新たな施設の比較表があるが、実際にオープンしてみないとわからない。府中グリーンプラザより近く、利用しやすくはなると思うが、有料利用が前提である。有料でもやむを得ないと思うが、有料である場合の使われ方も気にかかる。市民協働と言いながら、その協働のためにインフラを減らしてしまい、不足したらどうするのか不安である。	
69	中央文化センター	公共施設は税金を用いて整備しているのであり、施設にかかる維持管理費を削減することによる税金の有効利用はやむを得ないと思う。財源の確保も必要なことであると感じる。	
70	中央文化センター	市民活動をしていると、抽選で漏れて公共施設を利用できないという現実もあるため、みんなが利用できる施設の整備をしてほしい。	
71	中央文化センター	行政は縦割りである。もう少し横串を刺したような取組をしていれば、もっと展開した説明ができるはずである。	
72	中央文化センター	新庁舎、府中駅南口の新たな施設、新給食センターと大きな事業がいくつもあるが、市役所北庁舎はまだ使える。庁舎が立派になったからといっても市の福祉が良くなるものではない。府中グリーンプラザが商業施設になっても市民にとって何もいいことはない。教育センターもまだ使える。市民の公共施設のあり方や、税金の使われ方など、検討に余地がある。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
73	中央文化センター	中央文化センターが今回の再編対象施設に入っていないが、市民会館の会議室や料理講習室といった機能と重複している。中央文化センターも対象施設に含めるべきではないか。	
74	中央文化センター	ふるさと府中歴史館と宮町図書館の、それぞれ機能の一部が新庁舎に移転するということだが、新庁舎はにぎわいを創出するため、市の窓口が休みの時も府中駅と府中本町駅の両方から人を呼び込めるようにしたいということなので、機能が移転することは良いことだと思う。	
75	中央文化センター	市の中央防災センターは、その機能が新庁舎に移転後、どのように活用するのか。	中央防災センターの活用については、検討中である。消防団の団長の詰所という機能もあるため、事務スペースの移転というだけではなく、今後どのように活用するかといったことを担当課も含めて検討している。
76	中央文化センター	保健センターの健康増進事業の利用者は10年前の1万人から1万4千人に増えており、高齢者向けの事業として皆、満足している状態である。それにも関わらず、他のニーズに使用したいという理由でトレーニング機器を半分撤去するという説明が以前あった。しかし、それでは、一番肝心な高齢者にとって、最もありがたく、成長しているニーズが阻害されてしまう。そうすると利用者が減ってしまう。	利用者数については認識している。事業を行うためには、委託や機器の更新などに費用がかかる一方、健康増進事業のおかげで介護や医療の費用が減るというご指摘もある。ただし、それは客観的な数字として説明できていない。利用者数だけを事業の成果とするのであれば、費用をかけて人を呼ぶこともできるが、それは目指すものではない。事業として、適正なコストとサービスのバランスを検証する必要がある。
77	中央文化センター	健康増進室は、医療や介護保険の費用の削減として大いに効果があると考えます。その点をどう考えているか。	市が持つ情報だけで、利用者個々に追跡調査等を行うことは難しく、数字で具体的に示していくことは非常に難しい。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
78	中央文化センター	保健センター健康増進室の再編策としては、使用料の値上げを考えているのか。	使用料の値上げのみということではなく、運動機器の撤去も含め、健康増進室を今後どのように活用することが、健康増進事業全体として、より広く効果を上げることができるのかといった検討が必要である。
79	中央文化センター	新たな事業として、パパママ学級などが言われているが、それは他の場所でも実施可能であり、健康増進室の運動機器の撤去は必要ないと思う。	
80	中央文化センター	休日夜間診療の小児科や内科は必要だと思うが、休日のみ実施している歯科診療の部屋を確保する必要があるのか。限られた診療時間以外は空いている。空部屋は健康増進室以外にもあるように感じており、そういった場所も見直すべきである。	
81	中央文化センター	この取組を進めるに当たっては、市民に広報を行ってほしい。	
82	中央文化センター	対象施設の維持にかかる経費が、再編方針（案）に示してあるが、この資料だけでは高いか安いかわからない。市役所や府中の森芸術劇場、美術館といった、その他の全ての施設を見せなければ判断できない。全体に係る経費を見せてほしい。	
83	中央文化センター	公共施設整備には、これまで大きな費用をかけてきた。この市民の財産を壊したり売却したりするのではなく、市民のために利用するように最大限努力するのが市の役割である。今後、同じような施設を新たに建てることは無理であり、既にある施設は活用したり、無料で提供したりするべきである。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
84	中央文化センター	多くの行き場のない高齢者を受け入れることを市が考えるべきである。高齢者が家から出る施策、健康づくりにつながる施策へと観点を变えて、計画として見直しを進めてほしい。	
85	西府文化センター	府中グリーンプラザの廃止後は、利用者に文化センターへ移行してもらおうというのが市の考えではないかと思っているのだが、中央文化センターですら駅からは距離がある。フロアセブン協議会には、約110の団体が加入しているが、それらを文化センターへ移行しようというのは乱暴である	文化センターに限らず、府中駅周辺及び市内の施設をご利用いただくということを考えている。
86	西府文化センター	けやきホールと同等の規模という、府中の森芸術劇場のウィーンホールやふるさとホールということになると思われるが、どちらも遠くて不便なため、府中グリーンプラザはこのまま利用する方がよい。	けやきホールと形状や席数が同じホールを希望ということであれば、府中の森芸術劇場をご利用いただくことになるが、府中駅南口に新たに整備する施設にも、けやきホールとは席数等が異なるがホールを整備するので、そちらもご利用いただける。
87	西府文化センター	市には多くの施設があるが、活動場所は便利な施設に集中する。文化センターの予約の際、予約開始の時間ちょうどでも予約がとれないほどである。府中市には文化活動を行う人が多く、それだけ元気で前向きな人が多いということだから、そのような市民の期待を裏切るようなことはしないでほしい。	利便性の良い場所が望まれるということは理解するが、だから重複する機能をそのままにしてよいということにはならない。中央文化センターや市民会館、そして府中駅南口の新たな施設といった、徒歩圏内の施設で機能を補完していくことが必要である。
88	西府文化センター	対象の11施設が、最終的にどのような状態になるのかが把握しづらい。理由としては、文化センターの今後が記載されていないことと、府中駅南口の新たな施設の状況も分からないためである。	現段階で決まっていることは、再編方針（案）に記載している範囲であり、策定後に、具体的な各施設の活用は検討していくことになる。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
89	西府文化センター	意見交換会で説明は本当に概要部分だけで、府中駅南口の新たな施設の面積がどうなるのか、例えばホールも小さくなるようだが、こういった仕様になるのかといった具体的な説明がなく、全体が把握できない。	決まっていないものも含まれているため、現段階ではまだ具体的に説明することはできない。
90	西府文化センター	今後検討が進んで、もう少し府中駅南口の新たな施設の部屋の仕様や料金について見えてきたら、改めて何回か実施する必要があると思う。理解してもらうには、繰り返しの説明が必要だと思うのでお願いしたい。	説明会といった機会を設けるかどうかは検討させていただくが、様々な形で適宜情報は発信していく。
91	西府文化センター	施設を使い続ける場合も、それなりに費用がかかる。一方、新たに施設を整備する場合もお金はかかる。どちらが良いかは比較をしないと選べない。そのためにも十分な説明が必要である。	取組の説明やPRは、積極的に続けていきたい。
92	西府文化センター	意見交換会や説明会の意見はどのように反映させるのか。結局決まっていることの説明で、自分が意見を出しても、どのように受け止められているのか疑問に思いつながら参加している。	他の課が担当である施設に関する意見についても、担当課に伝えていく。また、再編方針を策定する際には、いただいたご意見などを一覧にして公表する。
93	中央文化センター	公共の建物は整備したらそのまま、雨漏り等の不具合が生じたら、事後的に手を加えるというように、建物の維持管理というものが民間に比べて軽視されているように感じる。	これまでの維持管理では、事後的に行うことが多かったが、このような施設再編の検討を行っていくことによって、優先度の高い施設に集中的に費用を充てていくことが可能になると考えている。
94	中央文化センター	市では施設を設置した後に、どのような改修をこれまで行ってきたかという履歴を残していないのではないか。人間に例えると医者にかかった場合、必ずカルテというものを作成するが、建物においてもそのような履歴を必ず残しておく必要がある。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
95	中央文化センター	市民からの意見を聞き、市としての施設運営に関する展望について意見を交換する場合は、この意見交換会で終わってしまうのか。建前として、市民との意見交換の場を設けたという事実作りに感じてしまう。	再編方針を策定した後も施設ごとに検討しなければならない問題は多くある。その検討を行う際に、不特定多数の方を対象とした意見交換会とするか、施設利用者の意見を伺う機会とするかは未定であるが、継続して市民の意見を聞いていく。
96	中央文化センター	多くの施設を抱え、予算も限られている状況では、市として統廃合や売却の意思をしっかりと打ち出さなければならない。そうしなければ、今後高齢化が進み、加えて子どもが減少していくとともに市税収入も減るため、そのツケをどんどん先延ばしにしてしまうだけである。	
97	中央文化センター	アンケートの結果で、施設の利用頻度について触れている部分があり、市民の利用が非常に少ない施設がある。空いているスペースも税金により管理されているため、そのようなスペースの活用策も検討しなければならない	より市民の方々に取組内容が見えるよう、今後も公共施設マネジメントの視点に基づく検討を行っていく。
98	中央文化センター	市民が文化的に生活するためにも市民活動は非常に重要であるが、市民活動に利用している施設を、建物の老朽化が進み、維持費が多くなるという理由で手放すのは納得がいかない。市が建物を手に負えなくなったということで、民間に活用を丸投げしているだけである。たとえば、民間施設に転用したとしても、多くの市民が利用するとは考えられない。そのような転用を行うのであれば、市民が多彩な活動を行うことが可能な施設として維持していくべきである。	府中グリーンプラザは様々な機能を有しているが、府中駅周辺にはそれ以外にも同種の機能を有する施設があり、また、府中駅南口にも新たな施設を整備する予定である。これらの施設において、府中駅周辺の市民活動が可能な場は確保できると考えている。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
99	中央文化センター	市が廃止を検討する施設の代替機能として説明している施設の機能では、補完ができるとは思えない。フロアセブン協議会の活動では、毎週多くの団体が活動を行っているが、その活動が可能な場所までを確保しているとは考えられない。	再編方針（案）の作成とは別に、施設の使用料に対する考え方を見直す取組も進めてきており、その考え方のなかでは、施設の使用料は原則として有料化することとしている。また、現在の府中グリーンプラザの貸館機能については、一般の方が有料で施設を利用しているので、使用料に関する考え方や公平性を考慮すると、市民が負担する部分は同等でなければならないと考えている。これらのことから、現在のフロアセブン協議会が利用する諸室の代替を新たに用意するのではなく、一般の方々と同様に予約をして、各施設を利用いただくことを考えている。
100	中央文化センター	フロアセブン協議会は登録制であり、名簿等を提出することで定期的に活動を行っているが、有料で借りている方々と差があるわけではない。差があるというのであれば、有料で利用している方々もフロアセブン協議会に登録をすればよい。フロアセブン協議会に登録した場合、各団体から運営委員を選出しなければならないが、私たちは自主的に運営を行うことで活動している。有料で利用している一般の方と差があるというのは間違っている。	
101	中央文化センター	フロアセブン協議会への登録団体は年間800円の運営費を出し合って活動を行っている。フロアセブン協議会の登録者もきちんと市税を払って、市民として公共施設を利用している。市が用意する当然のサービスのなかで、差があるという考え方は納得がいかない。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
102	中央文化センター	府中グリーンプラザは、老朽化をしているため解体を行わなければならないのか。	老朽化している建物を更新して、利用し続けるという選択肢もあるが、建築後約35年経つ府中グリーンプラザに建物の更新費用を充てるよりも、新たなにぎわいの創出のために、敷地を活用することを今回の案でまとめている。
103	中央文化センター	府中グリーンプラザの土地に新たに建物を建てる場合、容積率は800から~1,000%に変更することは可能なのか。	用途地域として定められた容積率があり、にぎわいの創出といってもけやき並木に面している立地や景観等も考慮すると、やみくもに巨大な建物を建設することはできない。
104	中央文化センター	府中グリーンプラザの北側は国道20号線ということで、容積率を最大限に活用し、再開発事業として、府中駅南口と同様に取り組むべきである。例えば、5階より上の階はホテルにすることで、それより下の階の事業者の集客力も上がるのではないのか。	
105	中央文化センター	府中グリーンプラザの跡地の民間活用を行う場合、1つの事業者が実施することになるのか。	敷地活用の提案を民間に募った際に、複数の事業者が1つの事業体として組んで提案を行うこともあれば、1事業者が単独で提案を行うことも考えられる。
106	中央文化センター	府中グリーンプラザは狭い用地のため、容積率を最大限高めることで、事業体も活用しやすくなると思う。ただし、マンションは既に多くあるため賛成しない。	
107	中央文化センター	これまで意見交換会に2回参加してきたが、すごいスピードで計画が決定されているように感じられる。このように再編時期まで明確に記載されているものに関しては、既に方針として決定しているのではないのか。	再編方針（案）は、最終的に決定したものではなく、それに対して多くの意見をいただくためにも、今回のパブリックコメント手続の実施期間を通常よりも長く設定している。そこで出されたご意見を踏まえつつ、今後方針として策定していく。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
108	中央文化センター	パブリックコメント手続等が出た意見を、どのように反映させていくのか。	市長を本部長とする行政改革推進本部において、いただいた意見について、再編方針に反映させたものとその理由などを説明していく。
109	中央文化センター	以前、新聞の記事で、市長は施設の廃止などについて発言しているのを見た。そのように述べている市長に、今回の意見交換会で伝えた意見を説明し、再編方針に反映されることがあるのか。実際は、既に再編方針は決まっています、意見交換会を実施したという実績作りになっているのではないかと。	方針や計画を策定する際には、パブリックコメント手続を実施し、市長に報告を行うということがルール化されている。単なる実績作りとならないように、今回のように意見交換を行う場を設け、パブリックコメント手続の実施期間も通常より長く設定している。いただいたご意見を軽く扱うような姿勢ではないということをご理解いただきたい。
110	中央文化センター	府中駅南口に新たに整備されるホールは、府中グリーンプラザのホールと同程度の規模なのか。	府中グリーンプラザのけやきホールは、階段状の固定式で、座席数は約500席だが、府中駅南口の新たな施設に整備するホールは、200～300席程度の可動式の席のホールとなる予定である。席を可動式とすることで、様々な用途での利用を見込んでいる。
111	中央文化センター	駅からそれほど近い場所に、府中グリーンプラザのような文化のための施設があることは、府中市の誇りであると考えており、文化の拠点として残してほしい。	
112	中央文化センター	最近ではラグビーに関するイベントで盛り上がったが、もう少しスポーツの分野でも面白い企画の提案や講演会を実施してほしい。開催場所としても駅から近くの場所で行うことで、市民のみならず、市外からも人が訪れるようにしてほしい。	
113	中央文化センター	府中市は、市民協働宣言をしているので、協働宣言のもと各政策を執行してほしい。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
114	中央文化センター	府中グリーンプラザなどの公共施設にある飲食店は、ショーウィンドウに何もディスプレイされておらず、立ち寄ろうという気にはならない。それは他市から訪れる人にとっても同じだと思う。	
115	中央文化センター	ギャラリー機能に関して、その機能を利用している人の意見を聞くべきであり、単に代替のスペースを用意すればよいというものではなく、照明や仕切り等の機能が保たれていることが重要である。	
116	中央文化センター	教育センターは登校が困難な子どもが相談に訪れる施設であると思うが、その機能が府中駅北第2庁舎に移動するという案に対して、既に不安を感じている利用者がいると聞いている。	
117	中央文化センター	パブリックコメント手続を通常よりも長い60日間実施し、意見交換会も4回実施しているという説明があったが、これまでパブリックコメント手続による意見はどれほど寄せられていて、3回の意見交換会の実施でどれほどの方が参加されているのかを教えてください。	パブリックコメント手続による意見は、文化センターなどの各施設に回収箱を設置しているため、未確認のものもあるかもしれないが、確認済のもので20名の方からいただいている（平成27年11月3日時点）。意見交換会の参加者数は、1回目が8名、2回目が19名、3回目が8名であり、これまでの3回で計35名であった。
118	中央文化センター	案のものが正式な計画や方針となると、意見交換会とパブリックコメント手続を実施し、市民の意見を反映させましたと書かれるのが通例であるが、本当にそれで良いのか疑問である。	
119	中央文化センター	府中グリーンプラザについて、私は建物自体を補修して、フロアセブン協議会とともに残してほしい。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
120	中央文化センター	駅構内の市政情報センターを府中駅南口の新たな施設に移転するということであるが、駅構内に設置されているからこそ、選挙時の不在者投票等で利用できるのであり、南口の新たな施設に市政情報センターの機能を入れるなどと言わないまでも、現在の駅構内に、不在者投票の機能は残してほしい。	
121	中央文化センター	公共施設を経営資源と捉え、総合的かつ最大限の活用を行うと資料に記載されているが、これは公共施設を利用し、儲けを出そうと考えているのではないか。その最たるものが、府中グリーンプラザの解体と貸付けによる賃料収入である。	
122	中央文化センター	資料を見ると、府中グリーンプラザの解体は当たり前のような文章が書いてあるが、その建物を利用し30年も自主運営で続けてきたフロアセブン協議会の歴史もあるため、例え解体を行うとしても、府中駅南口の新たな施設の中に、協議会が利用できるスペースを確保してほしい。	
123	中央文化センター	府中駅周辺公共施設についてのアンケートを平成26年度に実施し、8割の方々が民間活用について実施すべきという回答をしているという結果を、再編方針(案)の7ページに記載されているが、この一部の意見を過大に利用しすぎているように感じる。	
124	中央文化センター	平成26年度に実施したアンケートの問の文章に問題がある。公共施設が負担になっているような先入観を与えてしまう。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
125	中央文化センター	私たちはきちんと税金を納めているのだから、そのお金で施設の補修や維持管理及び改善を行うべきである。府中グリーンプラザは他市の施設と比べても、音響や冷暖房等の設備がひどいため、それらの改善を行い、更なる利用を促すべきであり、施設を解体し、お金を儲けようという考えには全く賛同ができない。	
126	中央文化センター	府中グリーンプラザ分館の展示室も、府中駅南口再開発事業の影響で、スペースが3分の2になったが、とても使いづらい。	
127	中央文化センター	府中グリーンプラザを商業施設に変えてにぎわいを出そうと考えているようであるが、府中駅周辺の商業施設は人通りが少なく、いつ撤退するかも分からない。そのように人々の購買意欲も停滞しているなかでは、せめて文化の面で盛り上がりを生み出そうと考えても良いのではないか。	
128	中央文化センター	施設がなくなるという説明だけでは、市民は不安になってしまうが、新たな施設に関する説明が書いてある資料も一緒に準備していれば、市民の捉え方もまた変わってくると思う。公開可能な情報があるなら市民に教えていただきたい。	
129	中央文化センター	説明を聞く限り、市民会館における運用の見直しに関しては、何も変わっていないように感じる。	市民会館に関しては、稼働率が横ばいの状況を踏まえ、既存の貸館機能だけではなく、余裕のあるスペースを利用して、例えば展示機能としての利用等を行えないかということ、指定管理者の協力しながら検討していく必要がある。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
130	中央文化センター	府中グリーンプラザで活動している自主グループは、府中駅南口の新たな施設でも活動を認められるのか。また、南口の新たな施設の会議室はいくらで貸し出すのか。	運用方法や使用料等を検討しているところであり、現段階では、利用に当たっての登録の有無や使用料をお伝えすることができない。現在お伝えできることは、新たな施設の5階は無料で使用できるスペースで、6階の貸館機能に関しては、以前策定した「手数料・使用料の見直しに関する基本方針」も踏まえ、使用料を決定していくということである。
131	中央文化センター	商業施設は市場原理の中で動くものであり、市場原理の中で動かせない役割を行政が果たすというのが通常である。それと真逆のことを行政がしているように感じる。	
132	中央文化センター	府中グリーンプラザを解体するのであれば、最初から府中駅南口に新たな施設は設置せず、府中グリーンプラザを残せば良いと思う。くるる内に「たち」が設置されているのと同様に、なぜ新施設内にも公共施設を設置するのか疑問である。本来であれば、市場原理に任せてテナントが入るのが理想であるが、テナントが埋まらず、市が床を購入するのはお金の無駄使いであるとともに、行政が地上げを行っていると同様である。再開発を行うことで利潤が生まれるのは地主にのみであり、市民活動を制限していることに驚きを感じている。	
133	中央文化センター	財政が厳しいから貸館を無料で貸すことはできないという理由ではなく、有料化を行うということがあらかじめ決まっていたということか。	使用料見直しの取組のなかで、貸館機能は原則有料化と定めており、それに沿って考えている。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
134	中央文化センター	財政が困っているという理由ではなく、無料化をやめることが前提にあったのだと考える。受益者負担というのは市場原理の中での考え方であり、市場原理で上手く進まない部分を補正するのが行政の役割である。それを放棄して、とにかくお金を取ることだけを決めているということか。	市の財政状況は、施設を順次閉鎖していくしかないという状況の自治体もあるなかで、そこまでの状況ではないが、公共施設整備基金が100億円ほどあり、この余力があるうちに、できるところから見直しを進めていこうという考えで公共施設マネジメントに取り組んでいる。
135	中央文化センター	府中駅南口の新たな施設の使用料が決まらない段階では、府中グリーンプラザの解体について検討しようがない。	
136	中央文化センター	市民の要望として高齢者福祉の充実が一番高いというが、実際に高齢になってみると、府中グリーンプラザにしても生涯学習センターにしても、あまり多くの高齢者向けの機能があっても利用しきることはできない。施設によっては空き部屋も多く、公会堂の利用状況も空いていることが多い。そして、その空きスペースの有効活用ができていないように感じる。	
137	中央文化センター	今後も高齢者福祉の充実が最優先の要望かというところではないように感じる。時代というものが大きく変わりゆくなか、府中市が少子高齢化のという問題をどのように考えていくかが重要である。年齢を重ねるにつれて、行政側は高齢者に対するの取組を増やしているが、逆に迷惑に感じてしまう部分もある。	